

職場つみたてNISA開始

磐梯貨物 積立額の5%負担



安心して働ける職場構築

磐梯貨物(金田昇社長、福島県会津若松市)は、従業員が安心して働き続けられる環境の構築を目指している。各種の取り組みが反響を呼び、2025年度には異業種からの転職者が多く入社し、社内に活気が生まれている。12月からは新たに「職場つみたてNISA(少額投資非課税制度)」を開始した。(稲井日菜子)

職場つみたてNISAは、NISAの非課税メリットを生かし、従業員が給与天引きで資産形成できる福利厚生制度で、雇用の拡大と安定に向けて導入した。賃金は毎年アップしているものの、実質的には物価高に追い付いていない状況を受け、取引金融機関からの紹介をきっかけに制度を開始した。

月1千円から、年間で最高120万円まで積み立てが可能。同社では積立額の5%に当たる金額を、奨励金として会社が負担する。金融機関によると、奨励金を設定している会社は業種にかかわらずまだ少ないという。役員を除く社員90人のうち、現在21人から申し込みがあり、毎月1万〜3万円を設定するパターンが多い。

「従業員ファースト」を掲げる同社では、給与水準や福利厚生、伸び伸びと仕事ができる社風など社員にとって魅力的な職場環境を実現させている。社員同士で自然に協力し合える風土があり、先輩・後輩が互いに業務を共有し合っているため、初心者も安心して働くことができるという。

「仕事が早く終われば帰っても良いという決まりだが、会社の居心地が良いのか、業務終了後も談笑する姿が見られる」(大堀卓也副社長)。また、労働組合とも積極的に意見を交換し、労組からの要望を実現させようと尽力している。拘束時間は元々多くなかったが「2024年問題」

が話題となり、更なる改善に踏み切った。25年には1年間の時間外労働が360時間未満だった社員が6割を占め、360〜720時間でも3割程度。給料を減らさずに私生活の時間が増えているため、社員の満足度が上がっているという。

こうした取り組みのほか、求職者が目にするホームページ(HP)のこまめな更新にこだわっている。どのページがどれくらい見られているか分析して、求職者に興味を持ってもらえるコンテンツを充実させており、「頻繁に記事をアップ

すると、見てもらえる回数も上がる」(馬場一広係長)と手応えを実感している。「トラックに乗ってみたい」という熱意のある(大堀氏)異業種からの転職者も多く、大型自動車免許・フォークリフト免許の補助を利用して独り立ちし、ほ

ば100%の社員が定着して活躍している。大堀氏は「ドライバーがいて初めて運送事業は成り立つ。従業員の幸せを第一に考え、満足して働いてもらえるような会社運営を続けていきたい」と話す。